

科目・分野	週時間数	コース	クラス・生徒数	担当者
地理A	2	文理コース・ 生命科学コース	D(34名) ・E(28名)	香川嗣治
目 標	①日本や世界の地理的事象に対する関心を高める。 ②地域的特色を捉え、地方的特殊性と一般的共通性を理解する。 ③各地域の諸事象を生み出している、自然・人文的要因を学ぶ。 ④地理的な見方や考え方の基礎を培う。			
大切に育てたいもの	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用・表現	知識・理解
	授業内容を出発点として、様々な事柄に興味・関心をもつ態度	「なぜ」「どうして」と常に考え、判断する力。	資料の探し方、活用の仕方を学び、自分の考えを表現するのに適した資料を使う力。	基本的な地名や用語の理解。

学期	考査	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期	中間	<ul style="list-style-type: none"> 球面上の世界と地域構成 地球・地表面のとらえ方 球面と表面の世界 時差と生活 国家と地域区分 	<ul style="list-style-type: none"> 緯度と経度の基本的なしくみを理解する。 水陸の分布の特徴を捉える。 球面を平面である地図に表現する際に生じるひずみについて考える。 時差のしくみと求め方を理解する。
	期末	<ul style="list-style-type: none"> 結びつく現代世界について 国家間の結びつき 世界を結ぶ交通・通信 国際化する人と物の移動 	<ul style="list-style-type: none"> 東西冷戦の終結とともに国家間の結びつきが変化したことを学ぶ。 交通・通信の発達により、人や物、情報の動きが活発化し、地域を変化させていることを学ぶ。
二学期	中間	<ul style="list-style-type: none"> 人間生活を取り巻く環境 自然環境（地形・気候） 	<ul style="list-style-type: none"> 地形を形成する営力について学び、様々な地形と人びとの生活の関わりについて学ぶ。 気候の特徴と人間生活の関わりについて考える。
	期末	<ul style="list-style-type: none"> 人間生活を取り巻く環境 社会環境 世界の諸地域の生活・文化 中国・東南アジア・インド ヨーロッパ 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の人々の生活や産業に影響を与えるもので、自然以外にどのようなものがあるか考える。 各国の自然や産業、文化を学び、地域的特色を学ぶ。 地域的特色を捉えるための視点や方法を身につける。
三学期	期末	<ul style="list-style-type: none"> アメリカ合衆国・オーストラリア・韓国・ロシア 地球的課題と私たち 人口問題・食糧問題・都市問題・エネルギー問題・環境問題 	<ul style="list-style-type: none"> 地球的課題は多様であるが、その要因の一つに先進国と発展途上国との経済格差があることを理解する。 様々な地球的課題は、相互に影響し合い複雑に絡み合っていることを理解する。
評価の方法	定期テスト、小テスト、提出物、ノートの完成度で評価します。		
学習活動の特徴	講義を中心とし、新聞記事やビデオなどを利用して学習を深めていきます。		
授業の形態	ホームルーム単位の授業、講義形式		
使用教科書	『地理A』（東京書籍）		
使用副教材	『新詳高等地図』（帝国書院）、『新編地理資料2015』（とうほう） 『15新地理要点ノート 新課程対応版』（啓隆社）		
用意するもの	教科書・副教材のほかに、説明等を書くためのノート		
備 考	休暇時に課題を出します。		